

令和2年度病害虫発生予察 病害虫防除技術情報 第1号

令和2年4月1日
大分県農林水産研究指導センター
農業研究部

かんきつ類の「かいよう病」「ミカンハダニ」防除について

昨年の12月上旬から気温が高い傾向が続いており、3月に入り「かいよう病」や「ミカンハダニ」の発生が多く圃場で確認されています。気象庁による1か月予報によると今後も平年より気温が高く降水量が多い傾向が続く見込みとなっており、これらの病虫害が多発する恐れがあります。定期防除を徹底して行いましょう。

1. 発生の状況（3月中下旬巡回調査）

1) かいよう病

- ① カボス 発生圃場率：本年 44.0%（平年 6.8%、前年 12.5%）
平均発病葉率：本年 2.9%（平年 1.0%、前年 1.1%）
平均発病度：本年 0.8（平年 0.2、前年 0.2）

2) ミカンハダニ

- ① カボス 発生圃場率：本年 80.0%（平年 30.1%、前年 0%）
寄生葉率：本年 11.6%（平年 4.4%、前年 0.8%）
② 温州みかん 発生圃場率：本年 33.3%（平年 18.2%、前年 12.5%）
寄生葉率：本年 5.5%（平年 2.3%、前年 0.3%）

2. 防除上の注意事項

- （1）かいよう病に対しては展葉期の初期防除を徹底し、罹病葉の除去を行う。
- （2）ミカンハダニに対してはマシン油乳剤による防除を徹底する。
- （3）防除薬剤は、大分県農林水産研究指導センター病害虫対策チームホームページ内にある「大分県主要農作物病害虫及び雑草防除指導指針」（<http://www.jpjn.ne.jp/oita/>）の「かんきつ」の項を参照する。なお、薬剤によっては指針の更新日以降に登録内容が変更されている場合があるため、容器のラベルに従って使用する。

（ホームページアドレス <http://www.jpjn.ne.jp/oita/>）

